調査対象物質	地方			測定値			報告時
即且為教物員	公共団体	番号	明旦地宗	検体1	検体2	検体3	検出下限値
[7-1] 2-メチル-1,3-フェニレン=ジイソシア ネート	北海道	1	北海道立総合研究機構環境科学研究センター (札幌市)	nd	nd	nd	0.29
初期環境調査・大気(単位:ng/m³) 地点ベース検出頻度:0/8(欠測等:1)	さいたま市	2	さいたま市保健所(さいたま市)	nd	nd	nd	0.33
	神奈川県	3	神奈川県環境科学センター(平塚市)	nd	nd	nd	0.30
検体ベース検出頻度:0/24(欠測等:3)	横浜市	4	戸塚区矢沢交差点自動車排出ガス測定局(横浜市)	nd	nd	nd	0.29
検出範囲:nd	石川県	5	石川県保健環境センター(金沢市)	nd	nd	nd	0.30
検出下限値範囲: 0.29~0.33	三重県	6	三重県保健環境研究所(四日市市)	nd	nd	nd	0.29
検出下限値: 0.33	京都市	7	京都市役所(京都市)	nd	nd	nd	0.29
要求検出下限値:0.4	福岡県	8	大牟田市役所 (大牟田市)	nd	nd	nd	0.31
	佐賀県	9	佐賀県環境センター(佐賀市)				

⁽注1)「検出頻度(地点ベース)」とは検出地点数/調査地点数(欠則等は除く)を、

[「]検出頻度(検体ベース)」とは検出検体数/調査検体数(欠則等は除く)をそれぞれ意味する。

⁽注2) ---: 欠測等

⁽注3)「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

⁽注4) nd:不検出

⁽注5) :参考値 (調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」 以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない)